

2. 有権者の投票行動

問 1 あなたは先日の住民投票、市長・市議会選挙のいずれかで投票しましたか。

		%	有効%
(ア)行った	729	89.6	89.6
(イ)行かなかった	85	10.4	10.4
有効回答数	814	100.0	100.0
無回答 他	0	0.0	
合計	814	100.0	

問 2 問 1で「(ア)投票した」と答えた方にお聞きます。住民投票では、どの選択肢に投票しましたか。また市長選挙では、どの候補に投票しましたか。さしつかえなければ、それぞれ次の中から一つ選んでマルを付けてください。

【住民投票】		%	有効%
(ア)合併に賛成	100	12.3	13.8
(イ)合併はやむを得ない	57	7.0	7.9
(ウ)合併に反対	568	69.8	78.3
有効回答数	725	89.1	100.0
非該当	80	9.8	
無回答 他	9	1.1	
合計	814	100.0	

【市長選】		%	有効%
(ア)寺田為三 (無・前職)	180	22.1	25.6
(イ)阪口伸六 (無・新人)	524	64.4	74.4
有効回答数	704	86.5	100.0
非該当	81	10.0	
無回答 他	29	3.6	
合計	814	100.0	

- ・実際の投票率に比べると、投票に行った人の割合は20%弱高いが、この種の調査では、元々関心の低い方から回答を得るのは簡単なことではないので、89.6%という数字は許容範囲と言える。
- ・実際の投票結果と同様に、住民投票で「合併に反対」に投票したという人に比べて、市長選で合併反対派候補の阪口氏に票を投じた人の割合は少なくなっている。つまり、住民投票と市長選との間で、合併問題に関して言えば正反対の投票行動をとった有権者もいたわけだが、そうした回答は、住民投票での賛否にかかわらず約1割弱に上った。

3. 投票理由

また、その選択肢(候補)に投票した理由もお聞かせください。 自由回答形式			
【合併に賛成】		%	有効%
高石市の財政に不安がある	23	23.0	34.8
行政の効率化・サービス向上が期待できる	14	14.0	21.2
政令市になったほうがよいから	13	13.0	19.7
将来のことを考えて	8	8.0	12.1
政府の方針を支持しているから	6	6.0	9.1
その他	11	11.0	16.7
有効回答数	66	66.0	100.0
無回答 他	34	34.0	
合計	100	100.0	
【合併はやむを得ない】		%	有効%
高石市の財政に不安がある	15	26.3	44.1
行政の効率化・サービス向上が期待できる	8	14.0	23.5
その他	16	28.1	47.1
有効回答数	34	59.6	100.0
無回答 他	23	40.4	
合計	57	100.0	
【合併に反対】		%	有効%
高石市に愛着があるから	98	17.3	22.2
行政サービスの低下が心配だから	81	14.3	18.4
堺市の財政に対して不安がある	77	13.6	17.5
堺市が嫌いだから	72	12.7	16.3
自治体は小規模がよい	66	11.6	15.0
合併の進め方に不満 疑問を感じたから	44	7.7	10.0
「合併はやむを得ない」という選択肢はおかしい	10	1.8	2.3
その他	87	15.3	19.7
有効回答数	441	77.6	100.0
無回答 他	127	22.4	
合計	568	100.0	

【寺田候補 投票理由】		%	有効%
これまでの実績	34	18.9	28.8
合併問題への態度	29	16.1	24.6
人物・人柄が良い	25	13.9	21.2
相手候補に市政を任せたくなかったから	16	8.9	13.6
知り合い(に投票を頼まれた)だから	10	5.6	8.5
その他	22	12.2	18.6
有効回答数	118	65.6	100.0
無回答 他	62	34.4	
合計	180	100.0	

【阪口候補 投票理由】		%	有効%
合併問題への態度	183	34.9	44.2
寺田市政への不満	116	22.1	28.0
人物・人柄が良い	73	13.9	17.6
新人に対する期待	59	11.3	14.3
公約・政策	41	7.8	9.9
若さ	34	6.5	8.2
その他	26	5.0	6.3
有効回答数	414	79.0	100.0
無回答 他	110	21.0	
合計	524	100.0	

今回の調査では、とりわけ「合併に反対」および阪口候補への投票理由に、住民投票・市長選の特徴がよく表れたと言える。

住民投票

* 「合併に賛成」「合併はやむを得ない」

これら2つの選択肢については、全体の回答数自体が少ないため参考程度にとどまるが、合併に賛成した人では、高石市の財政に対する不安を投票理由として挙げた人が最も多い。次いで、行政の効率化・サービス向上に対する期待、政令市になったほうがよい、などとなっている。

＊ 「合併に反対」

- ・ 合併反対の理由としては、「高石市に愛着があるから」と答えた人が最も多く、行政サービスの低下に対する心配を投票理由に挙げた人も多かった。「自治体は小規模がよい」という回答と合わせると、「高石市を守りたい」という意識の強さとともに、高石市の行政を現状の形のまま維持しておきたいと考える有権者が多かったことが、合併反対票が多数を占める大きな要因になったと言える。
- ・ 合併の相手先として想定されていた堺市に対する不安感、嫌悪感も、合併反対の大きな理由の一つとなっている。不安感に関して言えば、有権者の多くは高石市の財政以上に堺市の財政に対して、より大きな不安感を抱いていたと考えられる。
- ・ この他に見逃せないのは、合併の進め方に対する不満や、選択肢の設定に関しての疑問を理由に反対票を投じたと答えた人も少なくないという点である。

市長選挙

＊ 寺田候補・投票理由

- ・ 寺田・前市長に対しては、現職としてのこれまでの実績を評価して投票したとの回答が最も多く、有効回答の約 29 % を占めた。
- ・ 「合併問題への態度」を挙げた人は約 25 % と二番目に多かったが、他の投票理由とあわせて考えると、寺田氏に投票した有権者の間では、合併問題を判断基準とした投票行動はそれほど取られていなかったと言えるかもしれない。

＊ 阪口候補・投票理由

- ・ 最も注目すべき点は、「合併問題への態度」を理由として阪口・現市長に投票したという回答が最も多く、有効回答の約 44 % を占めたことである。
- ・ 次に多かったのは「寺田市政への不満」という回答であるが、多選を避けた、四期以上続けたら長すぎる、といった回答についても、広い意味での「不満」と捉え、「寺田市政への不満」の中に含めた。
- ・ このほか、市議会議員時代の実績を評価して阪口氏に投票した、との回答も数件見られた。